

会議録

会議名：令和4年度 第3回運営推進会議(せとうち)

■ 日 時 : 令和4年9月27日(火) 10:30~11:40
■ 出席者 : 別紙参照
書 記 : 田中 寿一 印
■ 議 題 : 第1回 地域貢献座談会 他
■ 内 容 :
1. 令和4年度 小規模現況報告【7月~8月】
・登録定員に3名程あきがある。紹介できる方がおられたら教えて欲しい
2. 第1回 地域貢献座談会(小規模ご家族、ご利用者22名中12名回答)
回答して頂いた中からいくつかを抜粋し座談会をおこなう
①自分では出来ない事が分かっていても、自分がイライラしてしまいます。できない事は「仕方ない」と思いたい。
【参加者ご意見】順不同
・介護する側、される側の気持ちになれば出来ないという本人の想いに寄り添え、ご家族やご本人のストレスが少しでも軽減されると思う。
・自宅で母親を介護していた経験があるが、初めはイライラする時もあった。その時の小規模職員の言葉で『介護は永遠ではない。いつか終わりがくる』とアドバイスをもらい介護に対する考え方が変わった。亡くなる2年間介護をする事がとても楽しく思えた。
・閉じこもりぎみになり、本人・ご家族のストレスを抱えるケースを見つけていく事も在宅ケアの重要な役割と感じる
・ご本人がこれからをどのように生活していきたいのかを探る必要がある。在宅生活を続けたいのか、施設入所を考えているのかどうか？介助者との距離をとってあげる事も両方へのストレスの掛かり方も変わるのではないかと
・どなたでも自宅での生活を望んでいると思います。
・できない事に目がいきがちだが、今出来る事を大事にしていく事で気持ちも変わってくると思う。
・知り合いにパーキンソンを患っている方がいるが、色んなことにチャレンジしている。今できる事を継続して維持していければ気持ちや考え方も変わってくると思います。
②台風が来た時に高齢者避難とありますが、どのようにしたらよいですか？小規模での受入れは可能か？
【参加者ご意見】
・実際に地域の避難所などを把握しているかどうかを確認する必要がある。
・小規模への避難も可能ではあるが、定員数が決まっている。特養は福祉避難所に登録しているので広いスペースも確保できている。まずは、避難が優先である。
・要介護者と一般の方が同じところに避難すると、避難所もすぐにパンクしてしまう。現在は避難する方は少なく、避難所もなんとかなっている。他にも避難所以外にも避難してるケースもあるので、まずは知識として正しい避難方法を知って身につけておくことが大事になってくる。
(裏面へ続く)

・今回の台風 14 号では、瀬戸内市にある各 5 か所の避難所へ 23 名の方は避難している。他にも福祉避難所には 4 名の方が避難をされていた。実際に高齢者が避難をする事自体にリスクがあり、ハードルが高いと感じた。本当に災害があった時に避難所まで行く方がいいのか？自宅の 2 階などへ上がる方が安全ではないのか？判断に悩むほど難しい問題であるとおもう。

・昔はそれぞれの地区で消防団があり災害時には駆け付けていたが、今では消防団の数も少なく統合されている為地域に対して密着できていない事が現状である。

・地区に避難所を儲けた場合に、地域の役員が見守りなどをおこなわないといけなので対応が難しい。

・ご利用者それぞれに個別避難計画を作成していると災害時などに動きやすく対応しやすくなります。

③コロナ予防接種を小規模で受ける事ができたので大変たすかりました。病院まで連れて行かなくても良いのは大変ありがたい。次回の接種も是非ともお願いしたい。

④特に要望はないが、今は自宅で一人暮らしなので何かあっても誰にも助けてもらえず心配していた。現在は小規模を利用しているので誰かが見回りに来てくれるから安心して生活している。

3. 生き生きカフェ☆せとうち食堂について

コロナウィルス感染症の増加で 8 月、9 月と開催を見合わせていましたが、10 月 15 日に再開をする事になりました。今回はせとうち食堂となりますが、感染症対策の為「焼きそばとおにぎり」のセットを販売という形で行います。ご希望の方がおられたらご連絡いただくと助かります。

4. その他

次回 令和 4 年 11 月 22 日(火) 10:30～ 開催予定

施設長	副施設長	小規模	ケアマネ		相談員		栄養士	作業療法士	理学療法士
居宅			事務員			介護課長	介護主任	リーダー	報告者